

がん診療地域連携パスのご案内

がん地域連携パスとは、大阪府下のがん診療連携拠点病院と地域の医療機関やかかりつけ医（連携施設）との情報交換と役割分担を行いながら診る連携体制です。すべてのがん患者が対象となるわけではなく、当センターでの専門的治療が一区切りし、その後の病状も落ち着き、投薬や経過観察中の患者さんが主となります。

■対象患者さんへの説明

医療の質と継続性の保証

- ・ 病院と縁が切れるのではなく共同診療であること
- ・ 治療経過を「治療計画書」で共有できる
- ・ 問題があれば病院で診療を受けられること
- ・ 情報が医療機関の相互に十分伝わっていること
- ・ 同意を得られていること

■患者・家族さんのメリット

- ・ 自宅に近い診療は通院に便利である（治療経過を知っている、患者のいつもの状態も知っている、家族を知っている）
- ・ 複数の病院・診療所に行かなくてすむ
- ・ 診察待ち時間の短縮になる
- ・ 複数の主治医の意見が聞ける
- ・ 自分の治療状況がスケジュール管理できて安心である
- ・ 薬剤の重複投与を防ぐことができ、安心安全な医療を受けられる